

【投稿】公務員は給与2日分を寄付せよ

会員 村澤秀樹

平成23年3月26日付の産経新聞（4面）によると、日本の大震災を受けて、モンゴル政府が全ての公務員に給与1日分の募金と呼びかけ、また、これをきっかけに一般にも募金運動が波及し、1億2500万円が集まったとのこと。

ついては、日本国の公務員としての^{きようじ}矜持を示すため、また、モンゴルへの謝意を行動で示すため、日本の国と地方の全公務員に対し、3月分の給与のうち、基本給の2日分（31分の2）の寄付を首相官邸及び内閣府が推奨するように提案する。

具体的方法としては、中央官庁の官房や地方公共団体の総務部等で募金を取りまとめ、日本赤十字社もしくは中央共同募金会へ寄付する。

また、募金の啓発として、募金者には暫定的に領収書を交付し、後ほど、国旗の下に「頑張ろう日本」等の文字を入れた徽章を東北地方の中小企業に発注し、作製された後に領収書の提示と引き換えに配布する。徽章は一般国民が一定額以上の募金をした場合にも配布し、震災を国民全体で乗り切る団結心を喚起する。これにより、夏に予測される大規模停電に際しても、節電への連帯意識を持たせることが可能になる。